

講義

- 担当教官：辻井 正人（つじい まさと）
- 担当教官の連絡先：(研究室) 伊都キャンパス数理学研究教育棟 417 号室
(電話) 802-4464 (電子メール) tsujii@math.kyushu-u.ac.jp
(急ぎの場合のみ使用すること.)
- 教科書：「複素関数論」クライツィグ 著 (培風館)
- 用意するもの：教科書，ノート，プリントを綴じるもの，計算用紙と筆記具.
- 講義内容：数学 1 B で学んだ複素関数論の基礎に，より発展的な内容（調和関数や等角写像の理論）について講義する．講義中に注意するが，教科書ではそれ以外がいくつかの部分に分けて収録されているため，講義との関係が多少複雑になるので注意.
- 講義についての情報を集めたウェブページを

<http://user.math.kyushu-u.ac.jp/index.php?tsujii>

から「講義について」⇒「2011年度」⇒「数学2B」とたどった所におく．講義の進行や宿題、講義中に配布したプリントについて順次情報を入れるので，講義を休んだときなどに参考にとすること．(講義プリントや小テストの問題と解答を掲載します.)

- 2回目以降の講義では（ほとんどの場合）最初に15分ほどで小テストをする．小テストは原則として採点して次回に返却する．答案の回収と返却を円滑に行うために次のようにする．
 - － 座席を固定する．(2回目以降の講義は同じ席に座ること.)
 - － 小テストの最中に封筒を列ごとに左の席からまわすので採点された自分の答案を受け取る．
 - － 一番右側の座席の人は答案を取り出した封筒を持っておく．
 - － 小テストが終わったら一番右側の人から順に答案をその封筒に入れてまわし，一番左の席の人が私に答案の入った封筒を渡す．

小テストは成績に関係あるテストなので教科書とノートはテスト時間中はしまう．(当然であるがそれ以外の飲食物等は講義中はしまう.) 小テストの問題は多少変更して期末テストにも出すので小テストで間違えたところはチェックしておくこと．略解を上記ウェブページにおく．

- 評価は「小テスト50% + 期末テスト50%」(割合について多少の変更はあり得る) 100点満点に換算して60点で合格．難しい問題は出さない．講義をよく聞いて指定された練習問題をやり，小テストで理解をチェックすれば十分のはず．
- 追試は原則として行わない．また，期末テストが終わった後での成績についての陳情等は一切受け付けない．(成績の確認等はもちろん o.k.) 4年次以降の学生は特に注意．
- 授業の欠席・遅刻については2回以下は成績に影響しないようにする．(小テストの点数は悪い方(または欠席)の2回を除いて計算する.) 事情があつて3回以上欠席する場合のみ，連絡すること．